

令和4年12月末日

各従業員
お取引先の皆様へ

令和4年10月（第11期）決算のご報告

温泉の素.com 株式会社
代表取締役社長 宮下季代子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙の通り、第11期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■RPA（ロボティックプロセスオートメーション）導入

「生産性向上」「ミスの防止」「人員削減」などを目的とし、2022年5月にアプリ作成が始まった。今まで従業員が行っていたことを自動化できれば「生産性向上」に繋がる。手作業で行っていたことを自動化すれば、ミスの防止に繋がる。単純な繰り返し作業を自動化することで作業人員を削減できる。
9月の時点でアプリは8割程度完成したが、稼働させるにあたっての軌道修正などが必要となり、稼働率としては3割程度となる。

■FAX送信システム

営業を効率的に行うため、独自のFAX送信システムを開発した。当社は、電話営業（テレマーケティング）と試作品の発送のみで折衝を進めている。
初回資料・サンプル送付→資料を見ていただけたか確認し、温泉分析表送付依頼をする→温泉分析表受領→試作作成→送付→試作の質感・デザインの確認。
従来は、この流れをすべて電話営業で行っていた。
しかし、昨今の人手不足により、営業のための従業員が確保出来ず、現状の人数（2名）で新規開拓をこなしている状態である。
そこで、FAX送信システムを活用し、資料確認、分析表依頼、試作の質感・デザインの確認を自動化した。

■薬機法に対するコンサルティング契約

入稿デザインの法務チェック（薬機法、商標、景品表示法）を行っている。
厚生労働省が規定しているガイドラインを参考にし、蓄積されたデータを弊社のガイドラインにしているが、文言が薬機法（旧薬事法）に抵触するかどうかの判断はとても難しい。2021年8月、改正により「課徴金制度」が導入された。厚生労働省の取り締まりはより厳しくなっている。法令遵守を徹底するためにも、コンサルティング契約を結ぶことにした。

■経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）

経営セーフティ共済に初めて加入し、掛け金240万円を支出した。保険料の勘定科目に入れた。

■社長交代

社長交代を正式に決定した。
本レポート作成時点には、宮下季代子が代表取締役社長に就任している。

■損益計算書 内訳は比較貸借対照表をご覧ください。

【売上】売上 22,217 万円（対前年+6,268 万円=139.3%）

昨年度は、コロナ禍の中、企業販促・アニメ向けの入浴剤開発により、コロナ禍前の売上まで回復させることができました。

今年度は、相次ぐ仕入れ価格の上昇により、4月1日に価格改定を実施した。売上に関しては、温泉施設向け入浴剤 前年比 46.1%増、企業販促・アニメ向けの入浴剤 前年比 24%増となった。

売上増加の要因としては、弊社の生産体制を模倣して小ロット生産をしていた同業他社の倒産予兆により、販売店から当社に仕入先を移行したいというお話しが多く寄せられた。弊社もその期待に応えていくなかで、企業販促・アニメ向けの入浴剤の売上が伸びた。

また、もう一つの要因は、全国旅行支援に合わせ、温泉施設商品の注文が9月、10月に集中した事である。

昨今の政府施策による旅行支援策、とりわけ旅行クーポンによるもの大きい。

宿泊した温泉施設で発行され、その売店で使用できるメリットがある。コロナ禍での施設売店では、土産物の賞味期限などの観点から在庫を抑える傾向にあるが、長期保存性が高い弊社商品は特に好まれている。売店利用客からも持ち歩きの便利さ、配りやすさから売上が伸び、結果として弊社の利益上昇にも繋がった。

取引先件数は全体で 32%増加した。

【仕入】仕入 6,237 万円（対前年+1,738 万円=138.7%）

原材料が高騰している。

温泉の素の主原料 10~20%増、印刷資材 10~15%増、梱包資材 10%増。また、自社印刷用フィルム、スタンドバックにおいては、慢性的に入手困難であり、在庫量を増やした。

【販売費及び一般管理費】13,622 万円（対前年+1,911 万円=116.3%）

広告宣伝費：176 万円 増

昨年、コロナにより展示会への出展取りやめたが、今年は出展したため。

荷造り運賃：102 万円 増

売上増加に伴い荷造り運賃を見直し、ゆうパケットを導入。さらに昨年行った、ダンボール箱の規格変更、組立機、結束機導入の効果があり、さほど大きく増えることはなかった。

給与手当：1,076 万円 増

売上増により、従業員の労働時間が増え、さらに最低賃金を上げたため。

修繕費：65 万円 増

計量器の修繕、スイングドアの修繕。

支払手数料：173 万円 増

薬機法に対する、コンサルティング契約を結んだ。

保険料：183 万円 増

経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の掛金を 240 万円増額した。

地代家賃：96 万円 減

前期は、端数月が含まれていたため年間 3 回支払っているが、今期より 2 回払いとなる。

研修費：49 万円 増

研修旅行で、沖縄県宮古島に行った。

温泉に入り、従業員や現地の方々と裸の付き合いをし、交流することで、日本の入浴文化を学ぶことができた。また、先々に訪れた場所でも、学びを得ることができた。

雪塩ミュージアム、入浴剤の原料となりうる、雪塩の製塩方法や雪塩ならではの使い方を楽しく学び、商品開発のヒントに繋がった。

宮古島市体験工芸村、宮古島の自然や文化、歴史について各体験プログラムを行う事で深く知ることができた。

当社の顧客は全国にいる。体験したことを知識として得ることは、お客様との会話や提案に繋がる。

■貸借対照表

【流動資産】9,505万円（対前年1,135万円＝113.6%）

現金 5,510万円（+1,228万円）

仕掛品 94万円（+94万円）11/1出荷分の売上の約1/2を計上した。

前期、抗菌美装への貸付金1000万円は入金済み。

通常の借入返済は約定どおり続けている。

売掛金や受取手形は12月末時点ですべて現金化していて不良債権はない。

【固定資産】2,563万円（対前年638万円＝133.2%）

今期取得したものは、印刷機+353万円。焼却炉+220万円。少額償却資産として+151万円、内訳はステンレスタンク大+18万円、ステンレスタンク小+15万円、下駄箱+15万円、研究室テーブル+18万円、ステンレス台車+12万円、ターンテーブル+18万円、デスクトップパソコン2台+53万円である。

長期貸付金 0万円（-50万円）

長年、貸し付けていて不良債権化していたが、社長を交代するに当たり清算しておいた方がよいと判断し、役員借入金（鈴木健太郎）を50万円減らし、長期貸付金をゼロとした。

返済を受けた訳ではない。

【流動負債】1,611万円（対前年737万円＝184.3%）

買掛金 734万円（+195万円）は通常の買掛である。

短期借入金 0万円（-60万円）

【固定負債】7,103万円（対前年-1,106万円＝86.5%）

長期借入金内訳 長野県信用組合 2,900万円（±0万円）

八十二銀行 3,901万円（-996万円）

日本政策金融公庫 95万円（-60万円）

鈴木健太郎 207万円（-50万円）

※コロナが収まるまで、利子補給があるので3年据え置き分はとりあえず借りたまま。

通常の約定返済分は返済している。

【株主資本】3,353万円（対前年+2,142万円）

【総論】

毎月の返済額は4年12月時点で、八十二銀行29万円、長野県信用組合3万円、日本政策金融公庫5万円＝37万円である。

銀行借入は予定通り返済している。コロナ資金の4,000万円分の返済（令和6年4月から返済開始）は、始まっていないが、現金で5,510万円持っているので心配ないだろう。

【第 11 期の重点施策】

■売上面

<温泉の素分野>

コロナの流行は続いているが、2022 年 10 月から「全国旅行支援」の開始とともに、外国人観光客の個人旅行も解禁され、2023 年には「全国旅行支援」の延長も決まった。

観光業によりやく明るい兆しが見えてきた。

来期は、温泉の素新規取引先獲得に向け積極的に営業活動していく。

<入浴剤分野>

新型コロナウイルスの巣ごもりで高まった入浴剤需要で企業販促・アニメ関連の売上に来期も期待できる。

<化粧品の分野>

既存の温泉の素取引先へ少しずつ展開していく。昨年同様。

温泉施設関連の製品のなかで高価格帯商品となる、取引先オリジナルのシャンプー・トリートメント・ボディソープ（アメニティ）の開発に取り組む。

■設備投資

<温泉の素、入浴剤、化粧品、共通>

2 台目印刷機の購入へ

現在、フィルム印刷機は 1 台で運用しているが、もう 1 台購入を検討する。企業販促が増えるとともに印刷クオリティの向上が求められる。購入するにあたっての課題は、印刷クオリティが重要と考える。

液体充填機の導入

新事業、シャンプー・トリートメント・ボディソープの製造にあたり主要な設備となる。

■来期に向けて

展示会に 3 回出展する。

これまで年 2 回、ホテルレストランショーとギフトショーに出展してきたが、

来期は、販促 EXPO【春】にも出展する。

観光業に明るい兆しが見えてきた。入浴剤需要の高まりはまだ続くであろう。

弊社にとってさらなる飛躍の年にするため、積極的な営業で勝負の年としたい。

なお、来期の広告費は 162 万円増える。

比較決算報告書

(第 11 期)

自 令和 3 年 11 月 1 日
至 令和 4 年 10 月 31 日

温泉の素, c o m 株式会社

長野県飯田市中村 1 7 5 8 番地 2

比較貸借対照表

令和 4 年 10 月 31 日現在

科 目	資 産 の 部			
	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【流 動 資 産】	[95,058,966]	[83,704,727]	[11,354,239]	[13.6]
現金及び預金	55,107,726	42,823,653	12,284,073	28.7
受取手形	579,520	230,640	348,880	151.3
売掛金	19,243,491	16,143,213	3,100,278	19.2
商品	18,996,070	14,014,516	4,981,554	35.5
仕掛品	946,178	0	946,178	
短期貸付金	0	10,000,000	△10,000,000	△100.0
未収入金	185,981	90,205	95,776	106.2
関係会社勘定	0	402,500	△402,500	△100.0
【固 定 資 産】	[25,634,509]	[19,248,496]	[6,386,013]	[33.2]
(有形固定資産)	(23,861,909)	(16,532,189)	(7,329,720)	(44.3)
建物	4,686,585	5,069,162	△382,577	△7.5
機械装置	12,650,325	8,760,800	3,889,525	44.4
車輛運搬具	708,525	298,058	410,467	137.7
工具器具備品	4,735,483	1,438,524	3,296,959	229.2
一括償却資産	1,080,991	965,645	115,346	11.9
(無形固定資産)	(866,375)	(1,303,282)	(△436,907)	(△33.5)
ソフトウェア	866,375	1,303,282	△436,907	△33.5
(投資その他の資産)	(906,225)	(1,413,025)	(△506,800)	(△35.9)
敷金	340,500	340,500	0	
長期貸付金	0	500,000	△500,000	△100.0
保険積立金	565,725	572,525	△6,800	△1.2
資産の部合計	120,693,475	102,953,223	17,740,252	17.2

比較貸借対照表

令和 4 年 10 月 31 日現在

負債の部				
科目	当期	前期	増減	増減率
	円	円	円	%
【流動負債】	[16,115,719]	[8,743,721]	[7,371,998]	[84.3]
買掛金	7,341,559	5,383,213	1,958,346	36.4
短期借入金	0	600,000	△600,000	△100.0
未払金	117,260	1,185,608	△1,068,348	△90.1
未払法人税等	4,003,300	182,500	3,820,800	*****
未払消費税	4,653,600	1,392,400	3,261,200	234.2
【固定負債】	[71,039,700]	[82,099,700]	[△11,060,000]	[△13.5]
長期借入金	68,963,000	79,523,000	△10,560,000	△13.3
長期借入金役員	2,076,700	2,576,700	△500,000	△19.4
負債の部合計	87,155,419	90,843,421	△3,688,002	△4.1
純資産の部				
【株主資本】	[33,538,056]	[12,109,802]	[21,428,254]	[176.9]
(資本金)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)	
資本金	20,000,000	20,000,000	0	
(利益剰余金)	(13,538,056)	(△7,890,198)	(21,428,254)	(△271.6)
繰越利益剰余金	13,538,056	△7,890,198	21,428,254	△271.6
純資産の部合計	33,538,056	12,109,802	21,428,254	176.9
負債及び純資産の部合計	120,693,475	102,953,223	17,740,252	17.2

比 較 損 益 計 算 書

科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【純 売 上 高】	[222,175,892]	[159,493,272]	[62,682,620]	[39.3]
温泉の素売上高	218,084,872	156,414,733	61,670,139	39.4
化粧品売上高	4,091,020	3,078,539	1,012,481	32.9
【売 上 原 価】	[62,374,543]	[44,986,360]	[17,388,183]	[38.7]
期首棚卸高	14,014,516	10,302,276	3,712,240	36.0
温泉の素仕入高	66,524,807	48,135,527	18,389,280	38.2
化粧品仕入高	831,290	563,073	268,217	47.6
合 計	(81,370,613)	(59,000,876)	(22,369,737)	(37.9)
期末棚卸高	18,996,070	14,014,516	4,981,554	35.5
売上総利益	(159,801,349)	(114,506,912)	(45,294,437)	(39.6)
【販売費及び一般管理費】	[136,227,725]	[117,113,384]	[19,114,341]	[16.3]
営 業 利 益	(23,573,624)	(Δ2,606,472)	(26,180,096)	(*****)
【営 業 外 収 益】	[2,765,974]	[2,293,930]	[472,044]	[20.6]
受 取 利 息	1,227	524	703	134.2
売 電 収 入	1,034,420	1,047,064	Δ12,644	Δ1.2
雑 収 入	1,730,327	1,246,342	483,985	38.8
【営 業 外 費 用】	[908,041]	[924,680]	[Δ16,639]	[Δ1.8]
支 払 利 息	908,041	924,680	Δ16,639	Δ1.8
経 常 利 益	(25,431,557)	(Δ1,237,222)	(26,668,779)	(*****)
【特 別 損 失】	[3]	[149,761]	[Δ149,758]	[Δ100.0]
固 定 資 産 除 却 損	3	149,761	Δ149,758	Δ100.0
税引前当期純利益	(25,431,554)	(Δ1,386,983)	(26,818,537)	(*****)
法人税、住民税及び事業税	4,003,300	182,500	3,820,800	*****)
当 期 純 利 益	(21,428,254)	(Δ1,569,483)	(22,997,737)	(*****)

比較販売費及び一般管理費

科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
広 告 宣 伝 費	1,962,359	196,950	1,765,409	896.4
荷 造 運 賃	4,588,960	3,559,164	1,029,796	28.9
分 析 研 究 費	0	59,000	△59,000	△100.0
役 員 報 酬	5,400,000	5,170,000	230,000	4.4
給 与 手 当	58,330,006	47,569,082	10,760,924	22.6
退 職 金	1,500,000	879,900	620,100	70.5
雑 給	179,680	243,161	△63,481	△26.1
法 定 福 利 費	7,265,426	6,215,191	1,050,235	16.9
福 利 厚 生 費	3,040,220	3,077,239	△37,019	△1.2
減 価 償 却 費	10,213,253	8,509,588	1,703,665	20.0
修 繕 費	1,070,635	419,710	650,925	155.1
事 務 用 品 費	691,943	1,030,081	△338,138	△32.8
消 耗 品 費	6,261,178	7,358,541	△1,097,363	△14.9
水 道 光 熱 費	1,642,065	1,394,845	247,220	17.7
旅 費 交 通 費	3,081,091	2,888,314	192,777	6.7
支 払 手 数 料	2,519,105	782,275	1,736,830	222.0
租 税 公 課	500,228	1,000,620	△500,392	△50.0
交 際 接 待 費	284,722	420,775	△136,053	△32.3
保 険 料	5,530,614	3,691,720	1,838,894	49.8
通 信 費	740,148	487,581	252,567	51.8
諸 会 費	112,600	147,200	△34,600	△23.5
車 輛 費	322,953	0	322,953	
新 聞 図 書 費	64,408	124,172	△59,764	△48.1
地 代 家 賃	20,240,799	21,204,411	△963,612	△4.5
研 修 費	490,005	0	490,005	
研 究 開 発 費	126,611	71,795	54,816	76.4
管 理 諸 費	62,427	56,553	5,874	10.4
貸 倒 損 失	0	125,000	△125,000	△100.0
雑 費	6,289	176,448	△170,159	△96.4
燃 料 費	0	254,068	△254,068	△100.0
販売費及び一般管理費	(136,227,725)	(117,113,384)	(19,114,341)	(16.3)